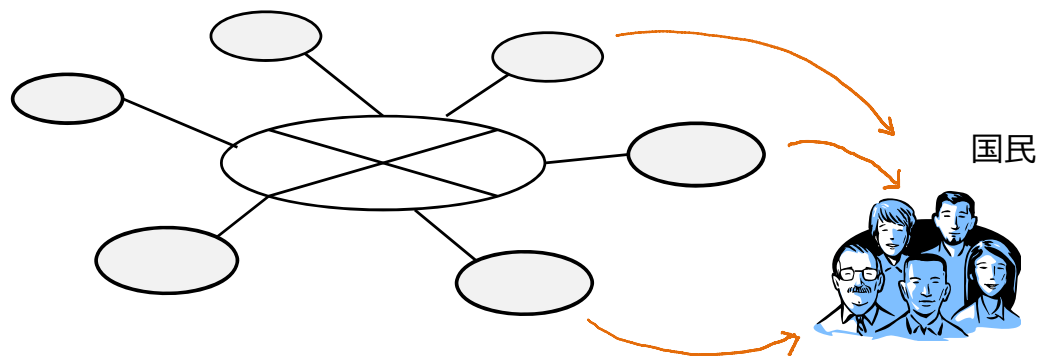


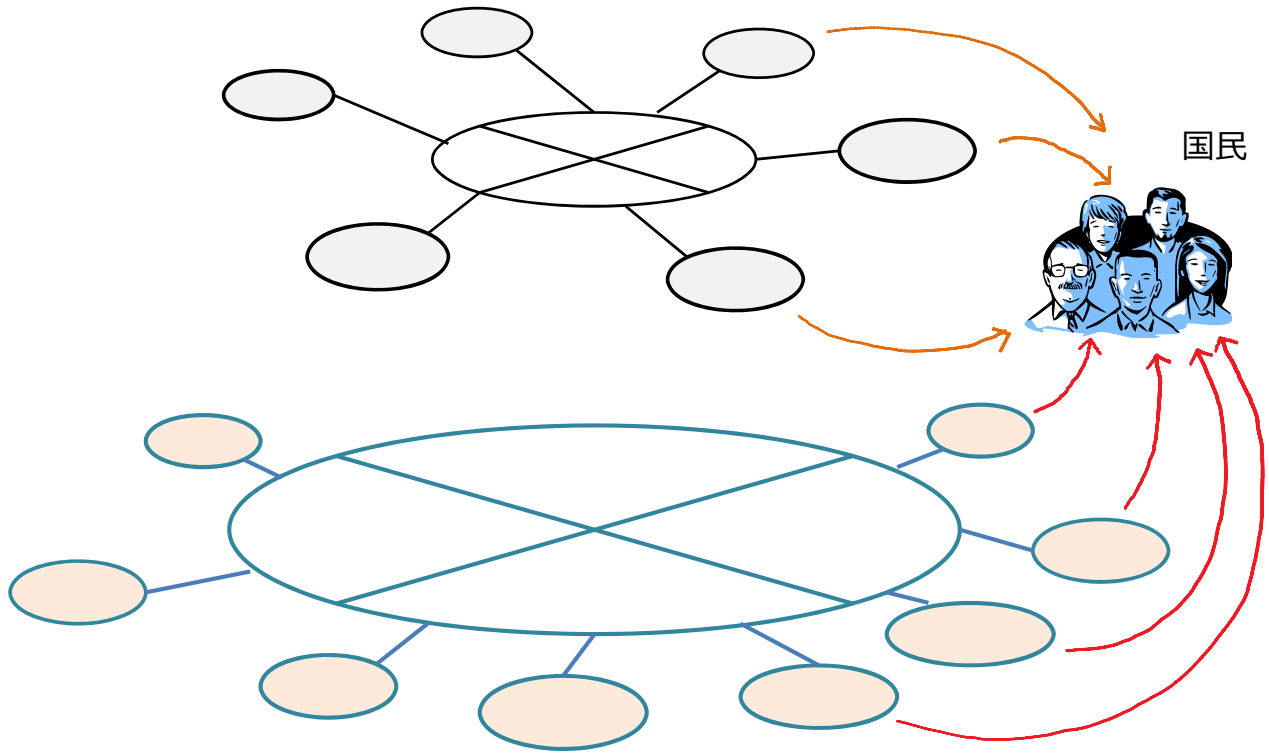
行政だけで頑張りすぎない 災害情報システム

東京大学・空間情報科学研究センター
柴崎 亮介

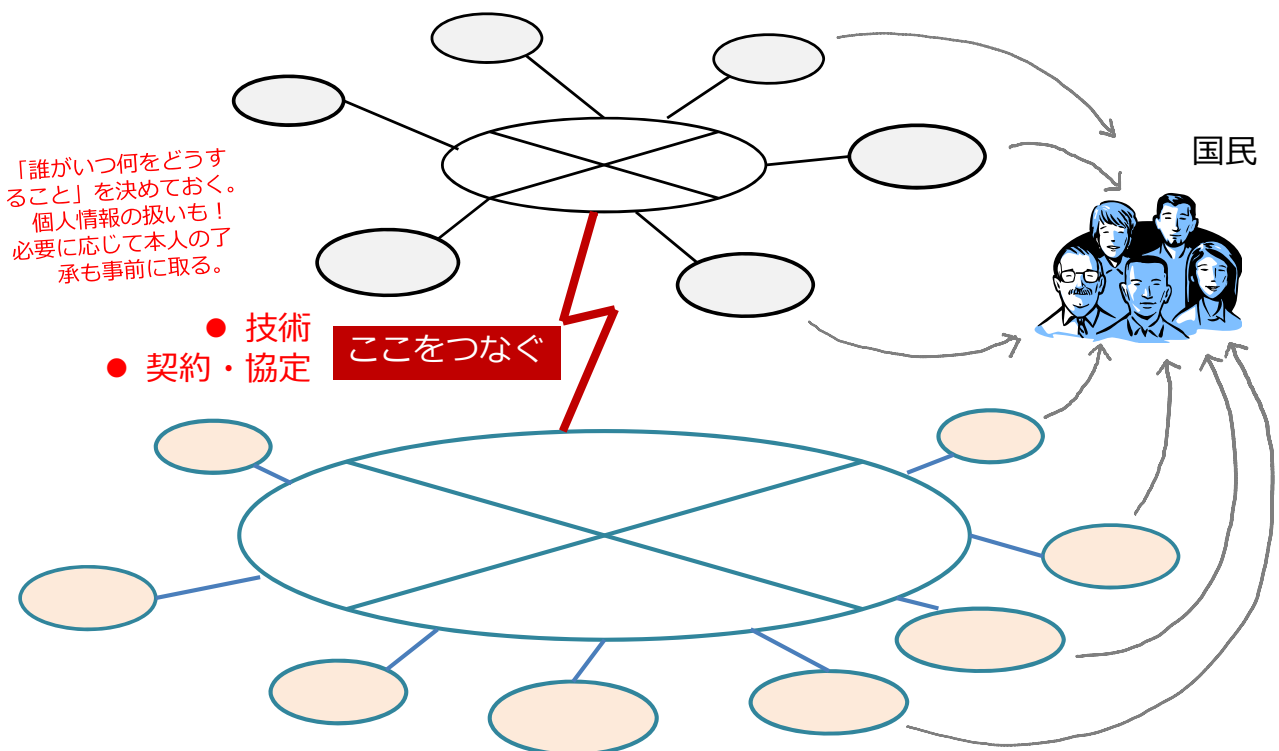
政府・自治体が頑張る防災情報システム

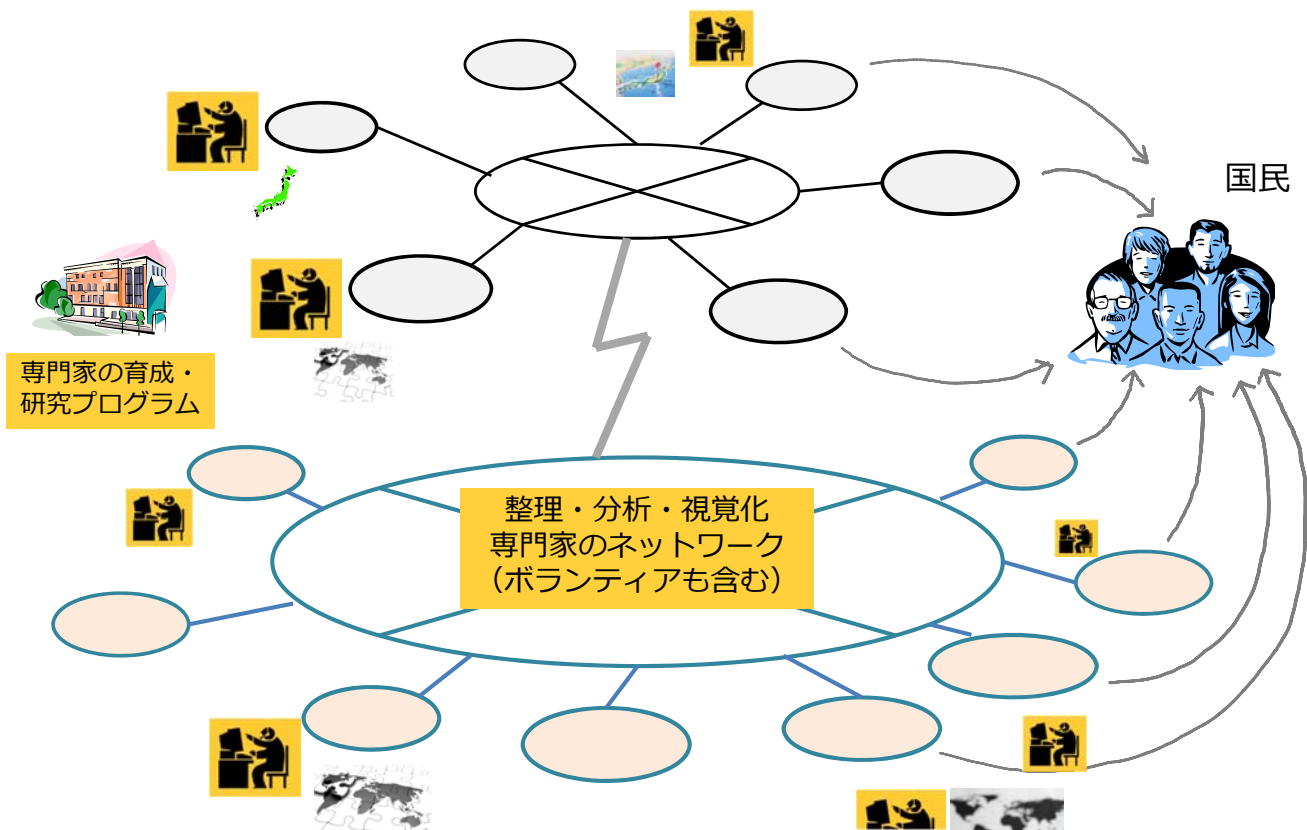


政府・自治体が民間等といっしょに頑張る防災情報システム



政府・自治体が民間等といっしょに頑張る防災情報システム





ポイント

- **民間**などが運用する情報システムと連携
 - 官によるデータ収集から官民学の共有へ。
 - 民間システム（例：携帯ナビ）経由での情報伝達
- 災害時の情報共有・管理**協**定の策定を促進
 - 災害時だけの特別な共有・管理協定・契約
 - 誰がいつ何を提供するのか、受け取るのか、使うのか・・・個人情報も。
 - 災害対応訓練を通じて、定期的に情報共有・管理を試行する。
- 災害時に収集される多様なデータの整理・編集・**分**析・視覚化作業を行う体制を官民学で強化
 - 災害対策本部等を直接支援する部隊
 - さまざまなデータを編集し、使いやすく（個人情報保護の観点からも）加工する支援部隊
 - 上記の活動経験等を元に、手法の改善・開発等を行う組織・体制